

フェンリル BX、パナソニック株式会社から スマートフォンアプリの UI/UX 改善業務を受注

スマートフォンアプリのデザインと開発で国内トップクラスの実績を有するフェンリル株式会社（本社：大阪市、最高経営責任者：牧野兼史、以下フェンリル）は、パナソニック株式会社（本社：大阪府門真市、代表取締役社長：津賀一宏、以下パナソニック）が提供しているスマートフォンアプリの UI/UX^(注)改善に向けたコンサルティング業務を受注しました。

スマートフォンの普及に伴い、顧客接点となるスマートフォンアプリの重要性はますます高まっています。パナソニックは多数リリースされているスマートフォンアプリを改善し、より優れた UI/UX を提供する必要性を感じていました。フェンリルはスマートフォンアプリの現状分析と課題抽出など改善に向けた具体的手法を示した上で、ブランディングを念頭に置いた UI/UX 戦略立案の必要性を提案しました。プロジェクトを推進する中心メンバーは、デザイン経営とデジタル戦略を支援する部署「フェンリル BX（ビーエックス、以下 BX）」に所属するプロフェッショナルです。

概要

1. 本プロジェクトの受注要因

a. 確立された手法と専門家による UX デザインの提供

フェンリルに在籍する HCD（人間中心設計）の専門家が、確立されたプロセスと手法に基づき UX デザインを提供している点を評価。

b. デジタル戦略の視点に踏み込んだ新サービス「BX」への期待

単なるアプリ開発にとどまらず、経営やデジタル戦略に踏み込んだ横断的かつ包括的な BX のサービスを評価。

c. 400 社 600 本以上のプロジェクト実績

400 社 600 本以上のスマートフォンアプリをデザイン・開発してきた国内トップクラスの実績を評価。

2. スマートフォンアプリの UI/UX を改善する必要性

スマートフォンアプリやウェブサイトなど、顧客接点の機会がアナログからデジタルへとシフトするにつれて、より優れたユーザー体験の提供が求められています。

企業ブランディングの観点も踏まえると、アプリの UI/UX を改善する重要性がますます高まっています。

3. 本プロジェクトの内容

a. 主要アプリの現状分析と課題の抽出

主要アプリのデザインとユーザビリティを分析し、UI/UX の現状を把握し、課題を抽出します。

b. UI/UX 改善に向けた戦略の提案

ブランディングを念頭に置き、UI/UX 改善に向けた戦略を提案します。

c. UI/UX に関する研修の実施

IoT 時代における UI/UX への取り組みに関する研修を実施します。

「BX」はビジネス(B)と未知数(X)を
掛け合わせた造語で、「未知なる仕事に、挑む」
という決意が込められています。

BX*

フェンリルの理念

フェンリルは“ユーザーにハピネスを”という目的を果たすことを約束します。

私たちはこの目的を果たすためにミッションを掲げ、実行しています。常識や慣習、偏見、固定観念にとらわれず、常に変化し続けながら、理想を追求しています。

フェンリルのミッション

Software meets Design

フェンリルはデザイン力と技術力がソフトウェア開発における最も重要な能力であると考えています。合理的かつ感情に訴えかけるようにデザインされたソフトウェアを、優れた技術によって最速で実現し、ハピネスを感じられる環境を生み出していくことを当社の使命とします。

会社概要

会社名：フェンリル株式会社(英語表記 Fenrir Inc.)

<https://www.fenrir-inc.com/>

所在地：大阪府大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 タワー B(オフィス) 14F

最高経営責任者：牧野 兼史

事業内容：デザインと技術にこだわったソフトウェアの開発

[ミッション] Software meets Design

資本金：1億円

本件に関するお問い合わせ先

フェンリル株式会社 BX

担当：島内(しまのうち)

TEL：03-5719-3321

E-mail：fenrir.consulting.bx@fenrir.co.jp

報道・メディア関係の方

広報担当：藤本(ふじもと)

TEL：06-6377-7606

E-mail：pr@fenrir.co.jp